

令和6年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立桃谷高等学校
校長名	伊藤 範子

開催日時	令和6年 7月 19日(金) 14:00 ~ 15:40
開催場所	府立桃谷高等学校 多目的教室1
出席者(委員)	長畑卓志副会長、篠崎静夫委員、高河原健委員、筋原章博委員
欠席者(委員)	梅田和子会長、滋野幸子委員
出席者(学校)	伊藤校長、福島准校長、岡本事務部長、橋岡課長補佐 鍋谷主査、平田主査、平野教頭(通信制)、北田教頭(通信制) 吉田教頭(定時制)、定時制教職員
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画 令和7年度 使用教科用図書選定理由書
備考	

議題等(次第順)
1. 開会 2. 委嘱状手交 3. 校長挨拶 4. 協議会委員・事務局紹介 6. 会長・副会長選出 6. 説明・協議(令和6年度学校経営計画、令和7年度教科用図書選定理由書について) ①定時制の課程 ②通信制の課程 7. 准校長謝辞 8. 閉会
協議内容・承認事項等(意見の概要)
令和6年度 学校経営計画について (定時制の課程) ○中学校でもここ数年で若手の教員が増えた。これまでは職員室内で情報共有や声掛けができていたが、なにか仕掛けづくりが必要だと感じている。どんなことをしているか。(質問) ➡授業ごとに、育てたい能力についてカテゴリー分けをし、それをもとに授業づくりをしていく取り組みを始めている。本校を卒業した後に、生徒にどのような能力をつけさせたいか学校全体で明文化しようとしている。 ○不登校傾向の生徒が在籍することが多いが卒業までにどれくらいの期間がかかるのか。SCやSSWの活用や取り組みについて教えてほしい。(質問) ➡他の高校から転入編入する生徒も在籍しているが、3～4年で卒業していく生徒が多い。中学校不登校で今年度入学した生徒が前期1日も休むことなく、登校している。SCの重点配置校に指定されたので、昨年度よりも来てもらえる回数が増え、面談日や教職員向けの研修等で活用している。 ○生野区では、生野多文化フラットを中心に、連携が進んでいる。日本語学校の講師に日本語の教え方を学ぶ研修等も行っている。連携を今後強化していきたい。 (通信制の課程) ○不登校生徒に対してどのような支援・取り組みを行っているのか。(質問) ➡声掛けなどを含め生徒に寄り添った優しい指導が何よりも効果的。後期から入学(転入)できる仕組みなどを含めて今後検討していきたい。 ○過去に比べ、進学率が上がっている。私立と比べ学費の安さはかなり魅力的だと感じた。 ○登校したにもかかわらず、教室の座席が埋まっており、スクーリングに参加できないことがある。大人数が苦手な生徒にとってなんとかならないか? ➡昼間部は、教室の席はほとんど埋まる状態。一方で日夜間部はあまり混雑していないため、教室に入りづらい生徒に対しては、事情をよく聞いた上で昼間部から日夜間部への転籍の方法もあることを伝えている。 令和7年度 使用教科用図書選定理由書 委員から特に意見はなかった

次回の会議日程	
日時	令和6年11月下旬（予定）
会場	府立桃谷高等学校 多目的教室1（予定）